

C型肝炎について

(一般的なQ&A)

平成14年2月更新
(改訂Ⅲ版)

<作成>

厚生労働省

<作成協力>

財団法人ウイルス肝炎研究財団
社団法人日本医師会感染症危機管理対策室

この『C型肝炎について(一般的なQ&A)』は、下記のホームページに掲載されています。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

(財)ウイルス肝炎研究財団 <http://www.vhfj.or.jp/>

(社)日本医師会 <http://www.med.or.jp/kansen/>

目次

「C型肝炎について～一般的なQ&A」について	1
【簡易版】	2
簡 Q1：C型肝炎とは？	2
簡 Q2：C型肝炎の原因は？	2
簡 Q3：C型肝炎ウイルスはどのようにして感染しますか？	2
簡 Q4：C型肝炎ウイルスは輸血（血液製剤も含む。）で感染しますか？	3
簡 Q5：C型肝炎の症状は？	4
簡 Q6：C型肝炎の検査法は？	4
簡 Q7：C型肝炎の治療法は？	4
簡 Q8：C型肝炎ウイルス感染の予防法は？	4
簡 Q9：C型肝炎になると肝硬変や肝がんになりますか？	5
【詳細版】	6
C型肝炎とは？	6
詳 Q1：C型肝炎とは何ですか？	6
詳 Q2：C型肝炎の原因は何ですか？	6
詳 Q3：C型肝炎になると、どのような症状がありますか？	6
診断と検査	7
詳 Q4：C型肝炎の検査はどこで受けることが出来ますか？	7
詳 Q5：C型肝炎を調べるには、どのような検査がありますか？	7
詳 Q6：C型肝炎の検査費用はいくら位かかりますか？	7
詳 Q7：C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陽性がありますか？	7
詳 Q8：C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陰性がありますか？	8
詳 Q9：感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス抗体検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？	8
詳 Q10：感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス RNA 検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？	8
詳 Q11：どのような人がC型肝炎の検査を受ければよいですか？	8
詳 Q12：C型肝炎ウイルス抗体が陽性であることが分かったら、どうすればいいですか？	9
詳 Q13：C型肝炎ウイルスに感染していても肝機能検査が正常の場合がありますか？	9
C型肝炎ウイルスはどのようにして感染するか？	9
詳 Q14：C型肝炎ウイルスはどのようにして人から人へ感染しますか？	9
詳 Q15：C型肝炎ウイルスは医療行為（歯科医療含む。）で感染しますか？	10
詳 Q16：C型肝炎ウイルスは性行為で感染しますか？	10
詳 Q17：C型肝炎ウイルスは家庭内で感染しますか？	10
詳 Q18：C型肝炎ウイルスは輸血（血液製剤も含む。）で感染しますか？	10
詳 Q19：献血血液の安全性向上のためにどのような予防対策が取られていますか？	11
妊娠と授乳	11

詳 Q20 : 妊婦はC型肝炎ウイルス抗体を検査しなければいけませんか？ _____	11
詳 Q21 : C型肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子供への感染のリスクはどのくらいですか？ _____	11
詳 Q22 : C型肝炎ウイルスに感染している母親からの授乳には注意が必要ですか？ _____	12
詳 Q23 : C型肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子供には検査が必要ですか？ _____	12
予防 _____	12
詳 Q24 : C型肝炎ウイルスに感染している人が他人へのC型肝炎ウイルス感染を予防するにはどうすればいいですか？ _____	12
詳 Q25 : 一般に血液からの感染を予防するにはどうすればいいですか？ _____	12
詳 Q26 : C型肝炎ウイルスに感染している人は性行為で何に気をつければいいですか？ _____	13
詳 Q27 : C型肝炎ウイルスに感染している人は何に気をつけて生活すればいいですか？ _____	13
詳 Q28 : C型肝炎ウイルスに感染している人はA型やB型肝炎の予防接種を受けた方がいいですか？ _____	14
C型肝炎ウイルス感染の長期予後 _____	14
詳 Q29 : C型肝炎ウイルスに感染している人が、慢性肝炎、肝硬変、肝がんになる、あるいは死亡するのはどれくらいの割合ですか？ _____	14
詳 Q30 : C型肝炎で肝臓以外に症状がでますか？ _____	15
C型肝炎の管理と治療 _____	15
詳 Q31 : C型肝炎ウイルスに感染している人の治療には専門医への相談が必要ですか？ _____	15
詳 Q32 : C型肝炎はどのように治療しますか？ _____	15
詳 Q33 : 治療費用はいくら位かかりますか？ _____	15
詳 Q34 : インターフェロン療法は効果がありますか？ _____	16
詳 Q35 : インターフェロン療法及びインターフェロンとリバビリンの併用療法の副作用にはどのようなものがありますか？ _____	16
詳 Q36 : インターフェロンによる症状や副作用を軽減する方法にはどのようなものがありますか？ _____	17
詳 Q37 : インターフェロンおよびリバビリンを使用した治療は子供にも行えますか？ _____	17
遺伝子型 _____	17
詳 Q38 : ウイルスの遺伝子型とは何ですか？ _____	17
詳 Q39 : C型肝炎に感染している人の治療にはウイルスの遺伝子型を調べる必要がありますか？ _____	17
詳 Q40 : なぜ多くの人で感染が持続するのでしょうか？ _____	17
詳 Q41 : 違う遺伝子型のC型肝炎ウイルスに感染しますか？ _____	18
C型肝炎と保健医療従事者 _____	18
詳 Q42 : 針刺し事故によるC型肝炎ウイルス感染のリスクはどのくらいですか？ _____	18
詳 Q43 : C型肝炎ウイルス陽性の血液に触れた保健医療従事者はどのように経過観察すればよいですか？ _____	18
詳 Q44 : C型肝炎ウイルスに感染した保健医療従事者は仕事上の制限を受けますか？ _____	18
C型肝炎の検査について _____	18
詳 Q 45 : C型肝炎の検査を受ける方法には、具体的にどのようなものがあるのですか？ _____	18

- 詳Q 46：「老人保健法による肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。_____19
- 詳Q 47：「政府管掌健康保健等による肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。19
- 詳Q 48：「保健所等における肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。_____19

「C型肝炎について～一般的なQ&A」について

我が国のC型肝炎の持続感染者は、100万人から200万人存在すると推定されていますが、自分自身が感染していることを自覚していない者が多く、さらに近年の知見によれば、感染者の中から肝硬変や肝がんへ移行する可能性があることが分かってきました。

厚生労働省は、外部の専門家からなる「肝炎対策に関する有識者会議」を設置し、平成13年3月に専門の立場からC型肝炎を中心とした今後の肝炎対策の方向性について報告書を取りまとめたいただきました。この中では、最近急速に知見が集積されてきたC型肝炎について、国民向けのQ&Aを作成し、わかりやすい知識の普及を行う必要性を指摘されています。

国民の方々が、C型肝炎に関する正しい知識を身につけることによって、病気の早期発見や重症化予防に結び付けることができるとともに、感染者に対する言われなき差別や偏見の除去にもつながります。

今回、厚生労働省では、「肝炎対策に関する有識者会議」の委員、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら、「C型肝炎について～一般的なQ&A」を作成しました。関係機関のご協力も得ながら、広く国民への情報提供となるよう活用したいと考えています。

平成13年4月

本年4月に作成された「C型肝炎について～一般的なQ&A」ですが、今回、フィブリノゲン製剤使用の実態と、同製剤使用後の肝炎発生状況が明らかになったことを受け、この事に関しての注意喚起、及び知識の普及を行う事を主たる目的として、改訂を行いました。それに伴って、さらにその他の部分で、よりわかりやすくするために表現の変更を併せておこなっております。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への情報提供となるよう活用していきたいと考えています。

平成13年8月

平成13年11月にC型肝炎の治療薬「リバビリン」が認可され、平成14年4月より、C型肝炎の検査体制が新しくなります。これを受けて「リバビリン」については最新情報に改正し、新しい検査体制については追加掲載をおこない、今回の改訂を行いました。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への正確で新しい情報提供を行えるよう努めてまいります。

平成14年2月

【簡易版】

簡 Q1 : C型肝炎とは？

C型肝炎は肝臓の病気です。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、重症化するまでは自覚症状の現れないケースが多くあります。これは本来肝臓がもっている予備能の高さに由来しています。このことを正しく認識し、症状がなくてもきちんと検査をして病気を早く発見することが大切です。

肝臓の働きには、

- 栄養分（糖質、たん白質、脂肪、ビタミン）の生成、貯蔵、代謝、
- 血液中の薬や毒物の活性化、分解、解毒、
- 出血を止める、
- ホルモンの調節、
- 胆汁の産出と胆汁酸の合成
- 身体の中に侵入したウイルスや細菌と戦う、

などがあり、我々が生きていくためには健康な肝臓であることがとても大切です。

簡 Q2 : C型肝炎の原因は？

C型肝炎はウイルスの感染によっておこります。

ウイルスとは、細菌よりもっと小さな生物で、いろいろな病気の原因となります。例えば、インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染によっておこります。ウイルスはヒトからヒト（動物からヒトへ感染することもあります）へと感染します。C型肝炎を引き起こすウイルスは、C型肝炎ウイルスと呼ばれています。

簡 Q3 : C型肝炎ウイルスはどのようにして感染しますか？

C型肝炎ウイルスは感染している人の血液が他の人の血液内に入ることによって主として感染します。

C型肝炎ウイルスが感染するのは以下のような場合です。

- C型肝炎ウイルスが含まれている血液の輸血等を行った場合
- 注射針、注射器を感染している人と共用した場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人の血液が付着した針を誤って刺した場合（特に、病院などで働く人たちは注意が必要です。）
- C型肝炎ウイルスに感染している人に使用した器具を適切な消毒などを行わずにそのまま用いて、入れ墨やピアスをした場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人と性行為を行った場合（ただし、まれ）

- C型肝炎ウイルスに感染している母親からの生まれた子供の場合（ただし、少ない）

以下のような場合にはC型肝炎は感染しません。

- C型肝炎ウイルスに感染している人と握手した場合
 - C型肝炎ウイルスに感染している人と抱き合った場合
 - C型肝炎ウイルスに感染している人とキスした場合（唾液では感染しません）
 - C型肝炎ウイルスに感染している人の隣に座った場合
 - C型肝炎ウイルスに感染している人と食器を共用した場合
 - C型肝炎ウイルスに感染している人と一緒に入浴した場合
- 等

簡 Q4：C型肝炎ウイルスは輸血（血液製剤も含む。）で感染しますか？

C型肝炎ウイルスが発見され初期の検査法が導入される平成元年（1989年）までは、輸血された方の8.7%に非A非B型肝炎が発生していました。この肝炎のほとんどがC型肝炎であったと考えられています。初期の検査法が用いられた平成2～3年（1990～1991年）には0.5%、改良された検査法が用いられた平成4～11年（1992～1999年）には0.1%以下となっています。平成11年（1999年）からは更に新しい検査法（核酸増幅検査：NAT）を導入したため、安全性は更に向上しています。

平成4年（1992年）以前に輸血（や臓器移植手術）を受けたことがある方は、当時はC型肝炎に感染している血液か否かを高感度で検査する方法がなかったことから、C型肝炎に感染している可能性が高くなっています。

また、フィブリノゲン製剤の投与を受けた方（フィブリン糊としての使用を含む。）、又は昭和63年（1988年）以前に血液凝固第Ⅷ、第Ⅸ因子製剤の投与を受けた方は、これらの製剤の原料（血液）の検査、C型肝炎ウイルスの不活化が十分になされていないものがありましたので、C型肝炎に感染している可能性があります。

上記に該当する方は、主治医に相談の上、C型肝炎の検査を受けることをお勧めします。

フィブリノゲン製剤は、産科の疾患その他で出血が多かった方や、大きな手術をされた方に使われた可能性があります。フィブリノゲン製剤が使用された可能性がある疾患については、

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0105/h0518-2a.html#betul>
をご参照ください。

簡 Q5 : C型肝炎の症状は？

C型肝炎ウイルスに感染していても症状がない場合が多くあります。一般的に症状が重いとされる急性肝炎の場合でも自覚症状がみられる人は2～3割程度で、全身けん怠感に引き続き食欲不振、悪心・嘔吐(おうと)などの症状が出現することがあります。これらに引き続いて黄疸(おうだん)が出現することもあります。他覚症状として、肝臓の腫大がみられることがあります。

慢性肝炎の場合では、自覚症状のない場合が非常に多いと言われています。

簡 Q6 : C型肝炎の検査法は？

C型肝炎の検査のためには、まず血液検査をする必要があります。

血液検査では、C型肝炎ウイルスの抗体や核酸を調べ、C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを判定します。

また、肝臓の細胞が壊れたときなどに血液中に放出される肝臓の酵素(AST、ALT(かつてはGOT、GPTと呼んでいました。))などを調べ、肝炎の活動度を判定します。

さらに、「肝生検」を行うこともあります。医師が皮膚の上から針で肝臓を刺し、肝臓から非常に小さな組織片を採取し顕微鏡で観察し、肝炎の活動度と進展度を病理学的に判定します。

簡 Q7 : C型肝炎の治療法は？

C型肝炎の治療薬には、インターフェロンと呼ばれる薬があります。

インターフェロンは注射で投与します。現在、インターフェロンの標準的投与期間は6ヶ月とされています。効果は、感染している人のウイルスの遺伝子型や量によって、また、状態や肝炎の進展度等によって異なり、また、副作用があることも知られています。専門の医師の診断にもとづいて適切な治療を行う必要があります。

平成13年11月にインターフェロンとの併用療法において効果があるリバビリンという薬が認可されました。ただ、この薬についても、副作用があり、効果の程度も感染している人の状態によって異なるので、専門の医師の判断に基づいた適切な治療が必要です。

簡 Q8 : C型肝炎ウイルス感染の予防法は？

まだ、感染予防のためのワクチンは出来ていません。しかし、C型肝炎ウイルスは感染力が非常に弱く感染予防は可能です。要は、感染している人の血液になるべく触れないことです。具体的には、以下のようなことに気をつけてください。常識的な社会生活を心がければ、感染することはな

いと考えられています。

- 歯ブラシ、カミソリなど血液が付いている可能性のあるものを共用しない。
- 他の人の血液に触るときは、ゴム手袋を着ける。
- 注射器や注射針を共用して、非合法の薬物（覚せい剤、麻薬等）の注射をしない
- 入れ墨やピアスをするときは、清潔な器具であることを必ず確かめる。
- よく知らない相手との性行為にはコンドームを使用する。

また、以上の行為の中には、そもそも違法なものが含まれています。感染する危険性が極めて高いことは言うまでもありませんが、行わないようにすることが基本です。

なお、現在、献血された血液はC型肝炎ウイルスのチェックが行われており、ウイルスが含まれる場合は使用されていません。

C型肝炎ウイルスに感染している、あるいは感染の疑いのある場合、C型肝炎ウイルスの検査の目的での献血は決して行わないようご協力をお願いします。

簡 Q9 : C型肝炎になると肝硬変や肝がんになりますか？

C型肝炎ウイルスに感染すると多くの人々が持続感染の状態となるが、その後、慢性肝炎となる人も多く、さらに一部の人は肝硬変、肝がんへと進行すると言われていています。この経過を示すのに以下のようなデータがあります。

C型肝炎ウイルスに感染している 40 歳以上の 100 人を選び出すと、選び出した時点で、65～70 人が慢性肝炎と言われています。

また、無症候性のC型肝炎ウイルス感染者 100 人を選びだし、20～30 年間、適切な治療を行われなかった場合

10～16 人が肝硬変に

20～25 人が肝がんに行進します。

しかし、適切な治療を行うことで病気の進展をとめたり、遅くすることができますので、C型肝炎ウイルスに感染していることが分かった人は、必ず医療機関を受診して病気の状態等の診断を受けて下さい。

【詳細版】

C型肝炎とは？

詳 Q1：C型肝炎とは何ですか？

C型肝炎とは、C型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、重症化するまでは自覚症状の現れないケースが多くあります。これは本来肝臓がもっている予備能の高さに由来しています。このことを正しく認識し、症状がなくてもきちんと検査をして病気を早く発見することが大切です。

肝臓の働きには、

- 栄養分（糖質、たん白質、脂肪、ビタミン）の生成、貯蔵、代謝、
- 血液中の薬や毒物の活性化、分解、解毒、
- 出血を止める、
- ホルモンの調節、
- 胆汁の産出と胆汁酸の合成
- 身体の中に侵入したウイルスや細菌と戦う、

などがあり、我々が生きていくためには健康な肝臓であることがとても大切です。

C型肝炎の特徴を簡単にまとめると、以下のとおりです。

- 血液を介して感染する。
- 急性期では、A型、B型に比べて症状が軽い。
- C型急性肝炎の多くは慢性化する。
- 慢性化すると、自然治癒はまれである。
- 経過とともに肝硬変、肝がんになる人がいる。

詳 Q2：C型肝炎の原因は何ですか？

C型肝炎の原因はC型肝炎ウイルスです。長い間血液伝播(でんぱ)型(血清肝炎型)の非A非B型肝炎ウイルスと呼ばれてきましたが、ウイルス遺伝子の一部が、昭和63年(1988年)に米国で分離・同定され、C型肝炎ウイルスと命名されました。C型肝炎ウイルスは、感染している人の血液が他の人の血液内に入ることによって感染します。

詳 Q3：C型肝炎になると、どのような症状がありますか？

C型肝炎では、A型肝炎やB型肝炎に比べ、急性期の自覚症状の出現率は低く、C型肝炎ウイルスに感染していても症状がない場合が多くあります。一般的に症状が重いとされる急性肝炎の場合でも自覚症状がみられる

人は2~3割程度で、全身けん怠感に引き続き食欲不振、悪心・嘔吐(おうと)などの症状が出現することがあります。これらに引き続いて黄疸(おうだん)が出現することもあります。黄疸以外の他覚症状として、肝臓の腫大がみられることがあります。

慢性肝炎の場合では、自覚症状のない場合が非常に多いと言われています。

診断と検査

詳 Q4 : C型肝炎の検査はどこで受けることができますか？

C型肝炎の診断のための検査は、血液検査で行うことができます。ほとんどの病院や診療所でこの検査が可能です。

詳 Q5 : C型肝炎を調べるには、どのような検査がありますか？

C型肝炎の検査のためには、まず血液検査をする必要があります。

血液検査では、C型肝炎ウイルスの抗体や核酸を調べ、C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを判定します。

また、肝臓の細胞が壊れたときなどに血液中に放出される肝臓の酵素(AST、ALT(かつてはGOT、GPTと呼んでいました。))などを調べ、肝炎の活動度を判定します。

さらに、「肝生検」を行うこともあります。医師が皮膚の上から針で肝臓を刺し、肝臓から非常に小さな組織片を採取し顕微鏡で観察し、肝炎の活動度と進展度を病理学的に判定します。

詳 Q6 : C型肝炎の検査費用はいくら位かかりますか？

肝炎の症状がある場合で、医師が必要と判断した際には医療保険が適用となります。この場合、患者さんの負担については、例えば健康保険本人の場合では2割負担となります。

症状が全くない場合、医療機関で検査を受ける際には自由診療となり、医療保険の適用とはなりません。具体的な料金等については、医療機関に相談して下さい。

詳 Q7 : C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陽性がありますか？

あります。偽陽性とは、本当は抗体が陰性なのに検査では陽性となる場合です。これは、献血者などC型肝炎に感染している可能性が低い多人数の集団を検査した場合に起こることがあり、このような場合には正しく陰性とするような補助的なC型肝炎ウイルス抗体検査を行って確認する必要があります。

があります。

C型肝炎ウイルス抗体検査が正しく陽性と判定された場合でも、ウイルスが「現在、体の中にいる場合」とウイルスが「体の中から排除された後の状態（＝感染既往）」とがあります。ウイルスが現在、体の中に「いる」か「いない」かの最終判定は、C型肝炎ウイルス RNA 定性検査や抗原検査によります。

詳 Q8 : C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陰性がありますか？

感染早期等では偽陰性があり得ます。それは、感染早期には検出可能レベルまで抗体価が上昇していないことがあるからです。しかし、数ヶ月後に検査すれば、陽性になります。

詳 Q9 : 感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス抗体検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？

C型肝炎ウイルス抗体は、症状出現期では10人中7人、症状出現3ヶ月後では10人中9人に確認できます。しかし、C型肝炎ウイルス抗体がある場合でも、C型肝炎の多くの場合は無症状です。

詳 Q10 : 感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス RNA 検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？

C型肝炎ウイルスはウイルス感染1～2週間後には検出可能となります。

詳 Q11 : どのような人がC型肝炎の検査を受ければよいですか？

以下のような方々は、C型肝炎ウイルス感染の可能性が一般の方々より高いと考えられています。

- a. 1992（平成4）年以前に輸血を受けた者
- b. 長期に血液透析を受けている者
- c. 輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与された者
- d. cと同等のリスクを有する非加熱凝固因子製剤を投与された者
- e. フィブリノゲン製剤（フィブリン糊としての使用を含む。）を投与された者
- f. 大きな手術を受けた者
- g. 臓器移植を受けた者
- h. 薬物濫用者、入れ墨をしている者
- i. ボディピアスを施している者
- j. その他（過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されているにも関わらず、その後肝炎の検査を実施していない者等）